



東証一部：9265

2019年 5月期 決算説明会

2018年 6月 1日 ~ 2019年 5月31日

2019年7月31日発表

代表取締役 執行役員社長 山下尚登



会 社 名	ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社
本店所在地	福岡県福岡市中央区渡辺通3-6-15 NMF天神南ビル6階
資 本 金	4億9,402万5,000円
事 業 内 容	医療機器および関連商材の販売を主とするグループ事業会社の経営管理、及びそれに付帯する業務
代 表 者	代表取締役 執行役員社長 山下尚登
上 場 市 場	東証一部
証 券 コード	9265
決 算 期	5月



ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社

山下医科器械(株)

汎用から高度医療機器、一般消耗品等の販売からアフターフォローまで、また医療IT構築や経営支援等多岐に渡って展開

(株)イーピーメディック

整形外科領域の体内埋没材料（インプラント）を自社にて企画・製造委託・輸入・販売を全国的に行う

(株)トムス

透析分野に強みをもち、透析装置や結石破碎装置といった医療機器の販売及びメンテナンスを行う

当社グループの事業拠点



山下医科器械

佐賀支社・武雄営業所・唐津営業所・
TMSセンター・鳥栖物流センター・
鳥栖SPDセンター

山下医科器械

佐世保本社・佐世保支社・長崎支
社・長崎中央営業所・島原営業所・
五島営業所・対馬営業所・長崎物流
センター

山下医科器械

熊本支社・八代営業所・
天草連絡所

トムス

熊本営業所

山下医科器械

鹿児島支社・奄美連絡所

トムス

鹿児島営業所

福岡県

佐賀県

長崎県

熊本県

大分県

宮崎県

鹿児島県

ヤマシタヘルスケアHD

本社

山下医科器械

福岡本社・福岡支社・北九州支社・筑後
支社・福岡西営業所・筑豊営業所・大牟
田営業所・メディプラザ・福岡SPDセン
ター・医療環境センター

イーピーメディック

本社

トムス

本社・福岡営業所・北九州営業所

山下医科器械

大分支社・中津連絡所

山下医科器械

宮崎営業所

広島県

山下医科器械 東手城ヘルスケアモール

トムス 中国営業所



1. 2019年5月期 業績の概況

2. 事業別概要

3. 決算概要

4. 今期の見通し

5. ご参考

売上高、営業利益、及び経常利益はともに順調に伸びたが、事業子会社ののれんの減損処理により2億10百万円を計上したため、当期純利益は減益

(単位：百万円)

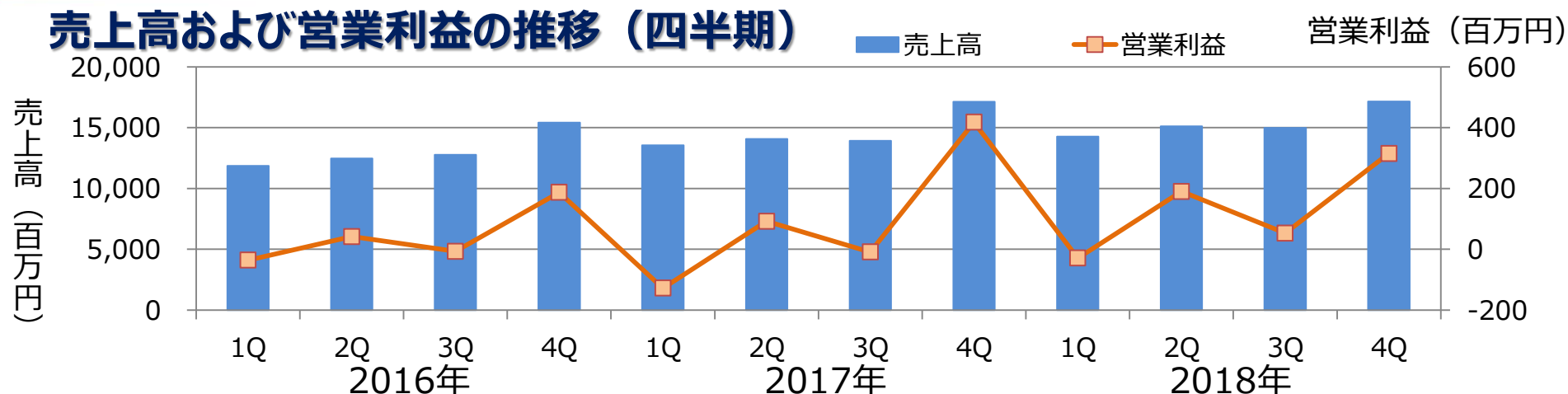
	2018年5月期 第1期	2019年5月期 第2期	対前年比 (%)
売上高	58,692	61,533	104.8%
営業利益	373	522	139.9%
経常利益	449	617	137.3%
当期純利益	220	144	65.5%
一株当たり当期純利益 (円)	87.04	56.57	65.0%
株主資本利益率 (%)	3.6	2.3	63.9%

一株当たり当期純利益 (円) : EPS , 株主資本利益率 (%) : ROE

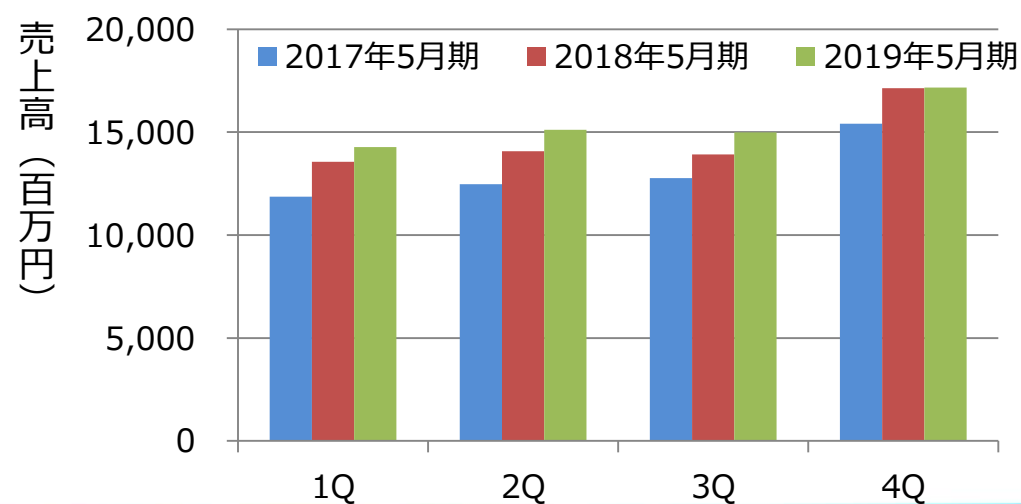
連結売上高・営業利益推移



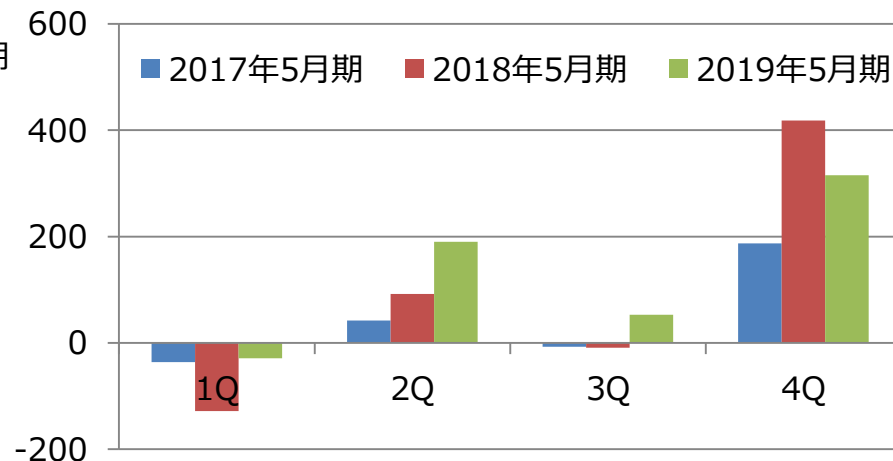
売上高および営業利益の推移（四半期）



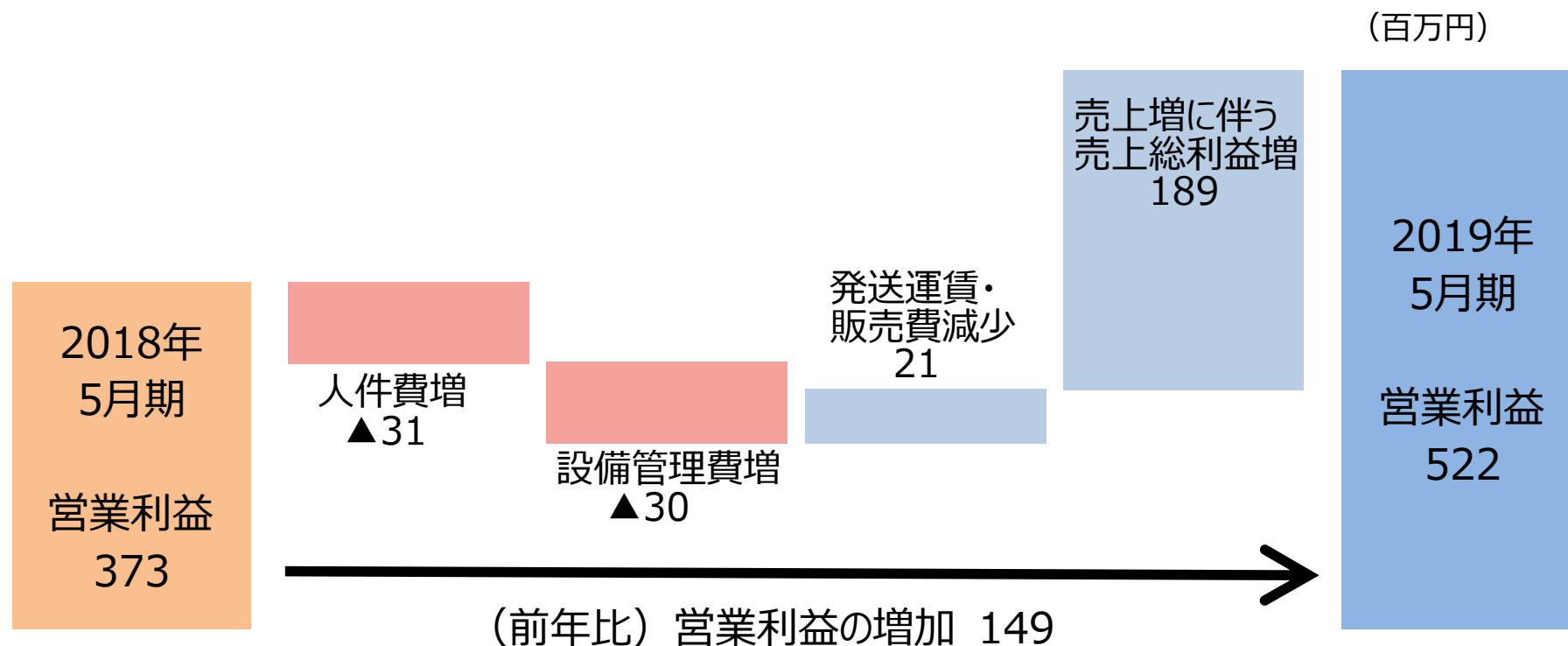
売上高の推移（四半期別）



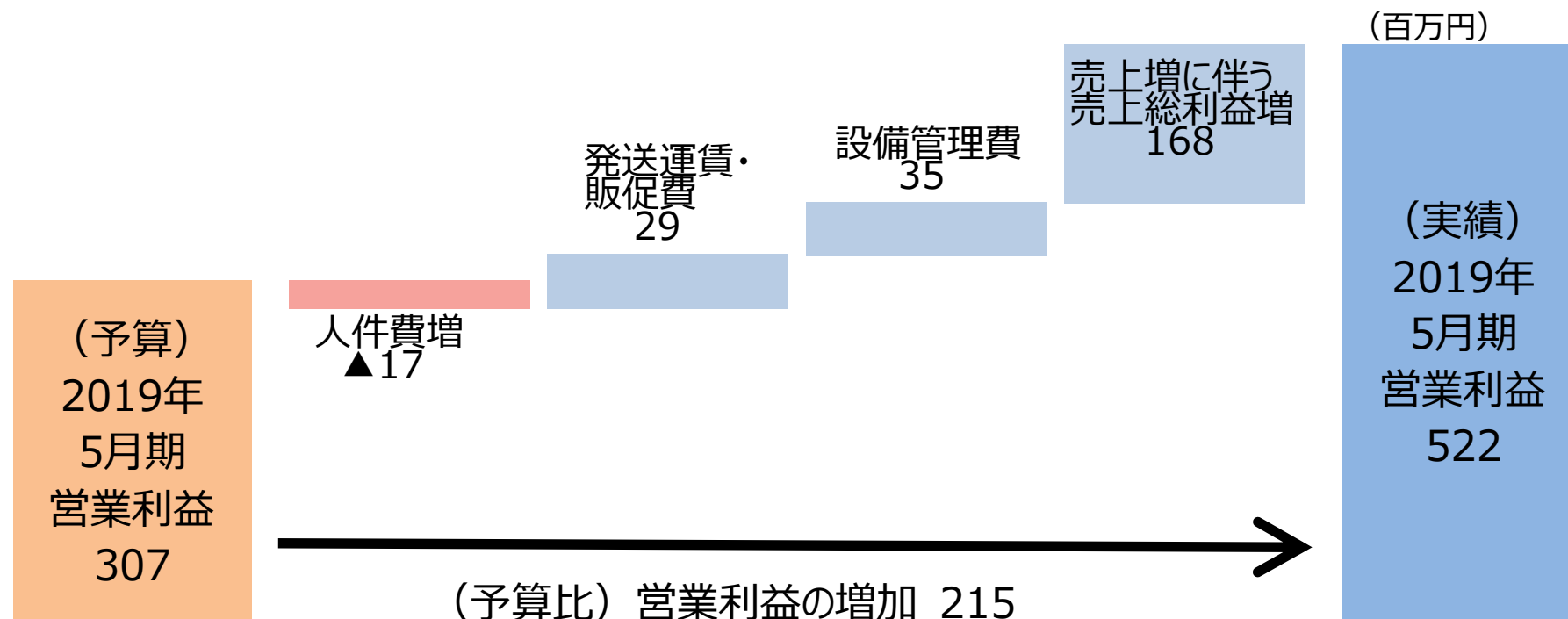
営業利益の推移（四半期別）



➤ 前年比 営業利益増の要因



➤ 予算比 営業利益増の要因





1. 2019年5月期 業績の概況

2. 事業別概要

3. 決算概要

4. 今期の見通し

5. ご参考

事業分野別の販売実績



- 一般医療機器や医療機器消耗品の売上増
- 患者様の身体的負担を少なく抑える低侵襲治療分野の売上増
- 専門分野では整形外科インプラント、眼科備品等の売上増

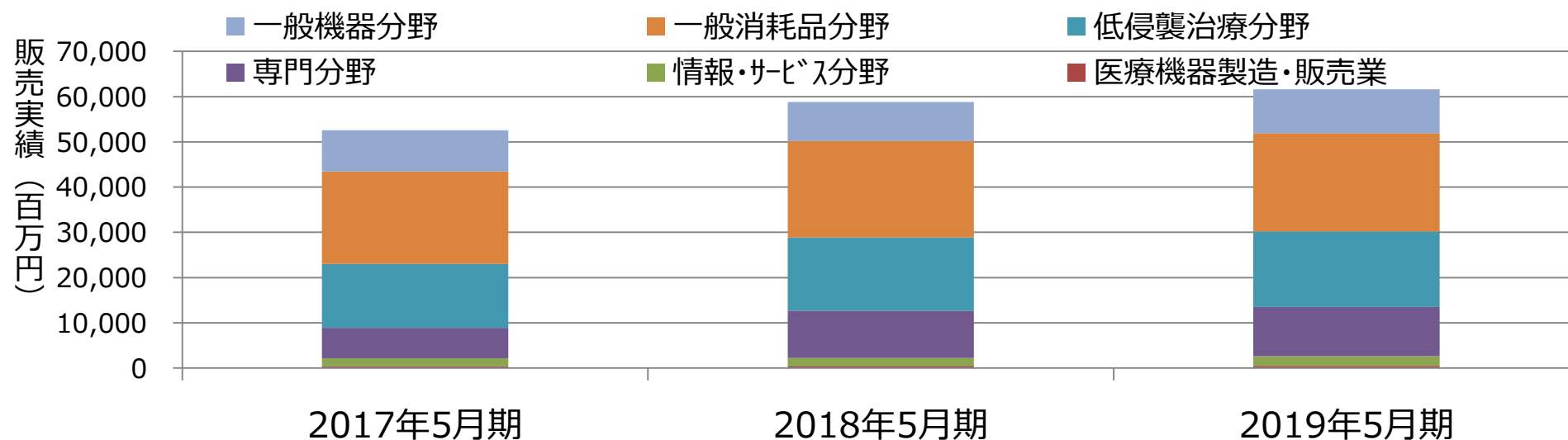
(百万円)

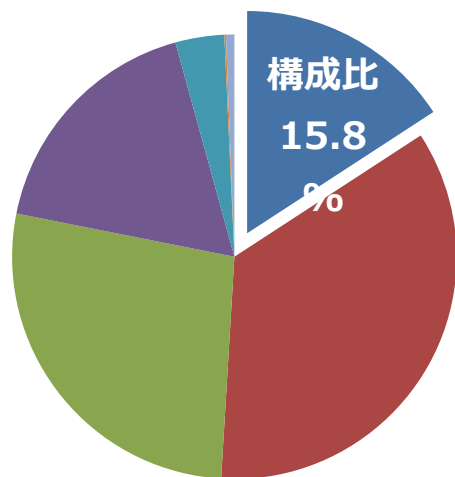
事業分野別売上（連結）		2017年5月期	2018年5月期	2019年5月期
医療機器販売業	一般機器分野	9,107	8,633	9,731
	一般消耗品分野	20,446	21,324	21,623
	低侵襲治療分野	14,118	16,146	16,719
	専門分野	6,728	10,484	10,830
	情報・サービス分野	1,733	1,751	2,187
	小計	52,135	58,340	61,092
その他	医療機器製造・販売業	346	395	374
	医療モール事業	74	74	73
	セグメント間内部取引額	▲ 38	▲ 117	▲ 7
合計		52,517	58,692	61,533

事業分野別の販売実績推移



- 一般機器分野：治療用機器、CT、MRI、モニタリング 等
- 一般消耗品分野：手術用医療材料、輸液・輸血関連、医療用消耗品 等
- 低侵襲治療分野：内視鏡本体、IVE、消化器用・血管内治療用カテーテル・ステント 等
- 専門分野：人工関節類、検査機器、眼科備品、皮膚・形成備品、透析関連品 等
- 情報・サービス分野：医療ガス、設備工事、医療廃棄物収集、医療用ICT機器、メンテナンス 等
- 医療機器製造・販売業：整形外科用インプラント製造販売（グループ開発製品）
- 医療モール事業：運営医療モール賃料収入



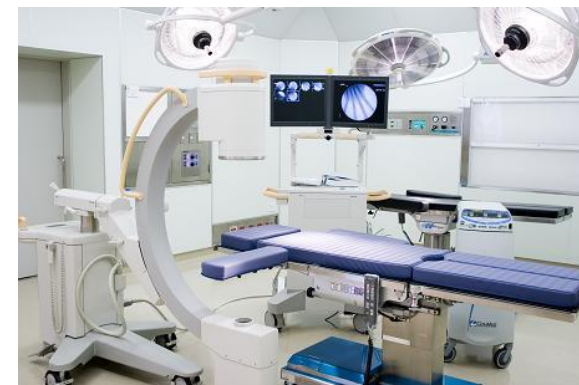
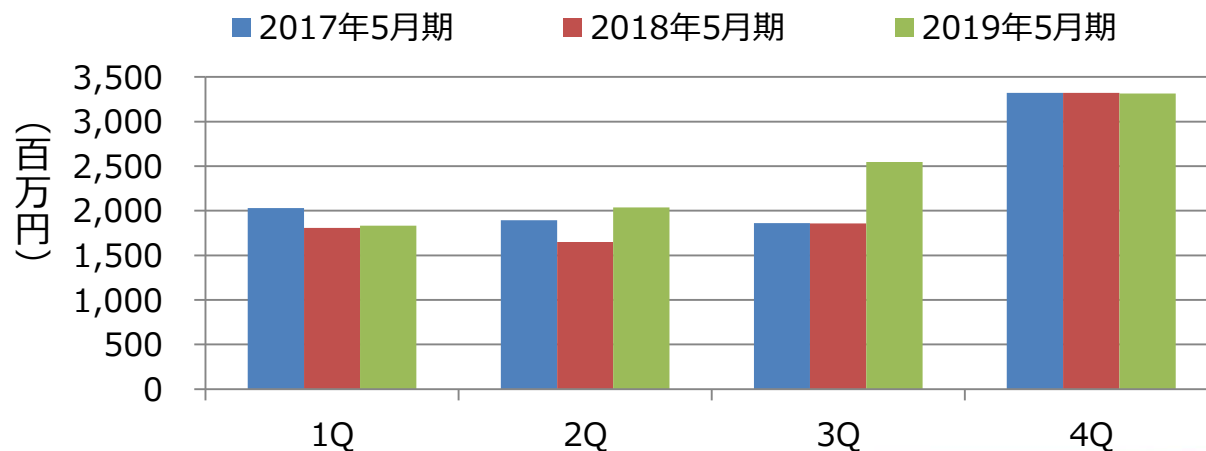


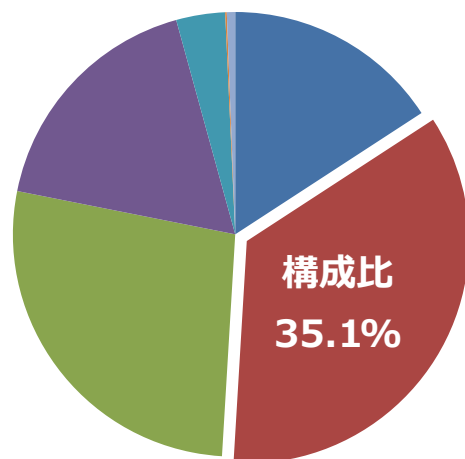
【一般機器分野】

- 売上高： 97億31百万円
- 前期比： 12.7%増

結石破碎装置や生体モニタリングシステム等の医療機器備品、MRI等の高度診断機器類の売上増加

■ 一般機器の売上高推移（四半期別）





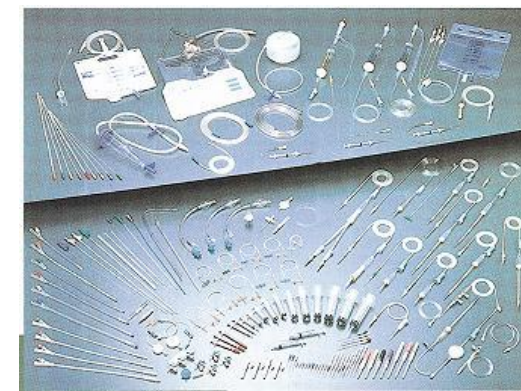
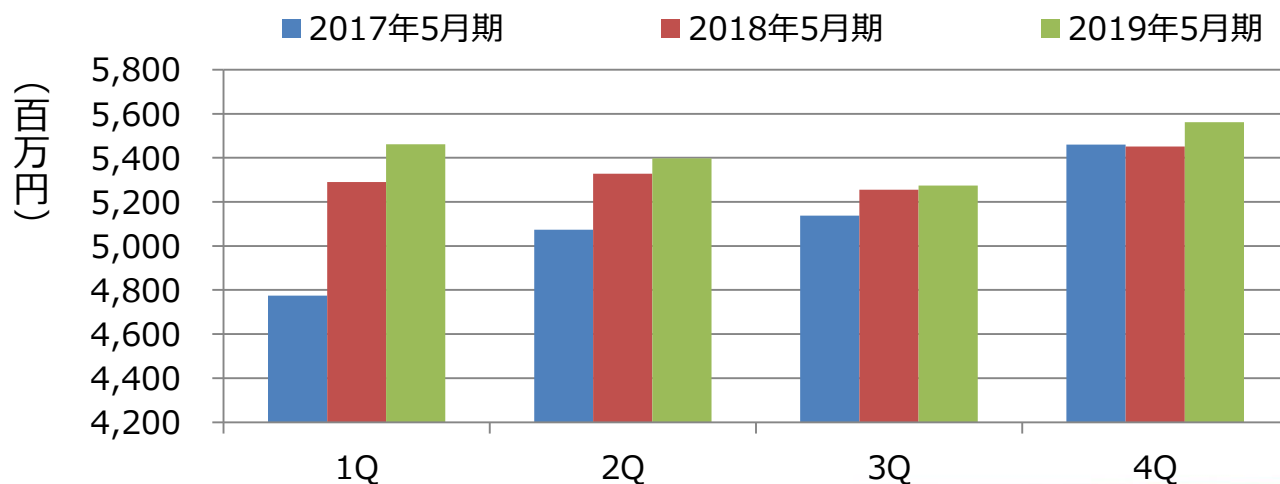
【一般消耗品分野】

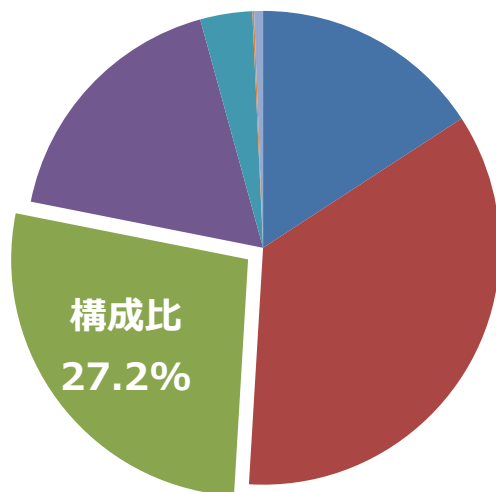
■売上高： 216億23百万円

■前期比： 1.4%増加

SPD契約施設における医療機器消耗品の売上増加

■一般消耗品の売上高推移（四半期別）





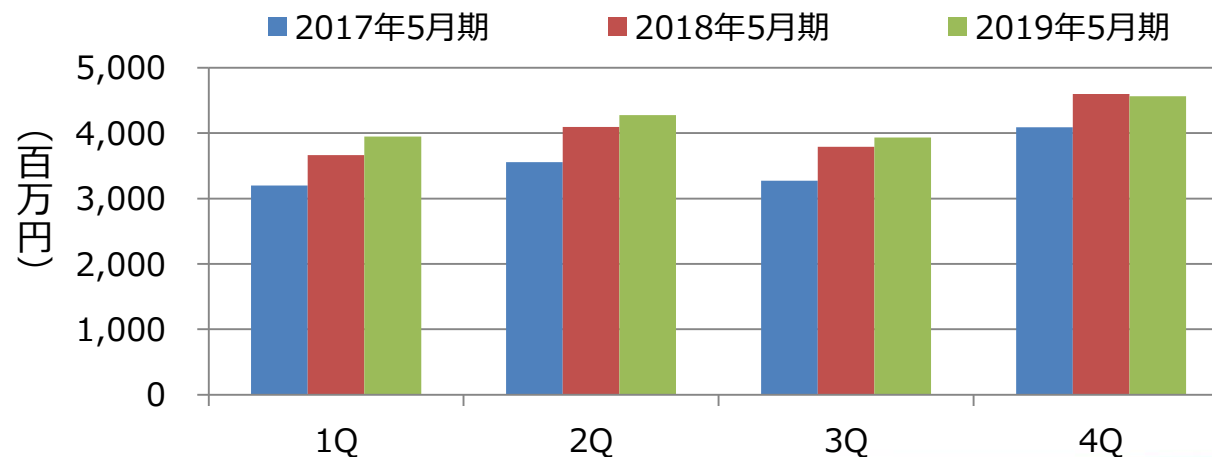
【低侵襲治療分野】

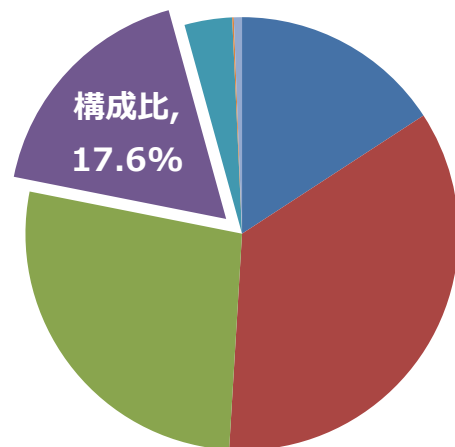
■ 売上高： 167億19百万円

■ 前期比： 3.5%増

内視鏡手術システム等のサージカル備品やIVE
(内視鏡処置用医療材料) 等の売上増加

■ 低侵襲治療分野の売上高推移（四半期別）





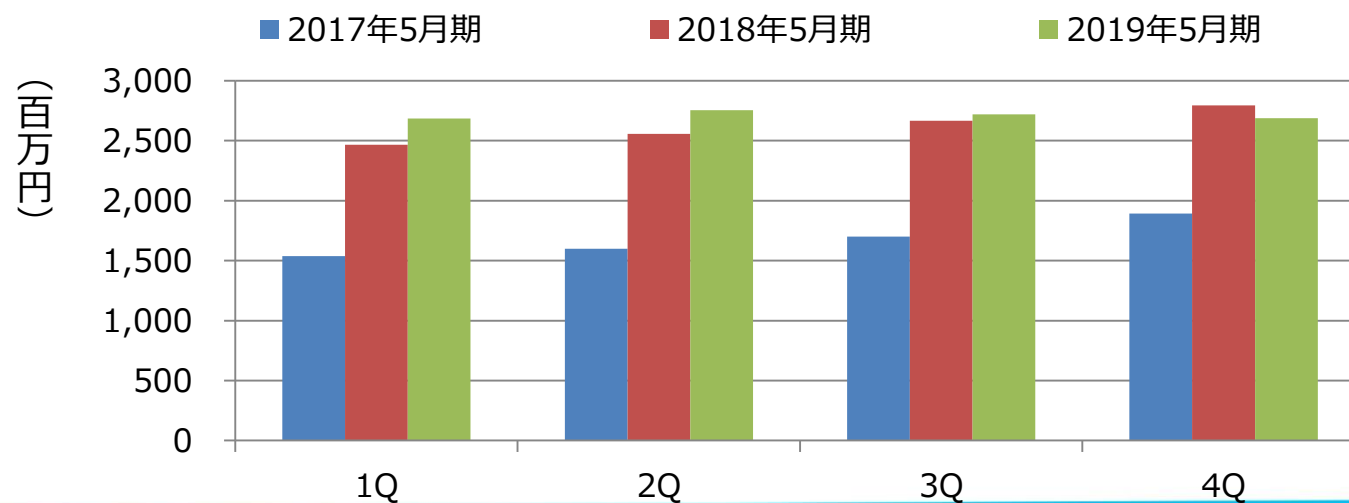
【専門分野】

■ 売上高： 108億30百万円

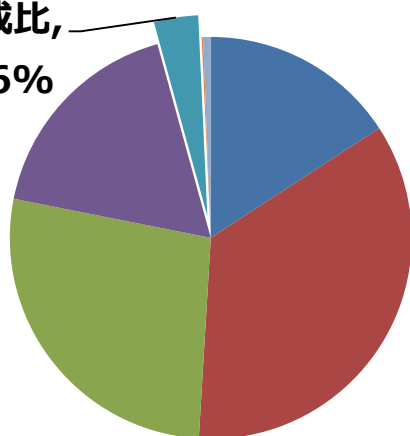
■ 前期比： 3.3%増

人工関節や骨折治療材料等の整形消耗品、眼底撮影装置等の眼科備品の売上増加

■ 専門分野の売上高推移（四半期別）



構成比,
3.6%

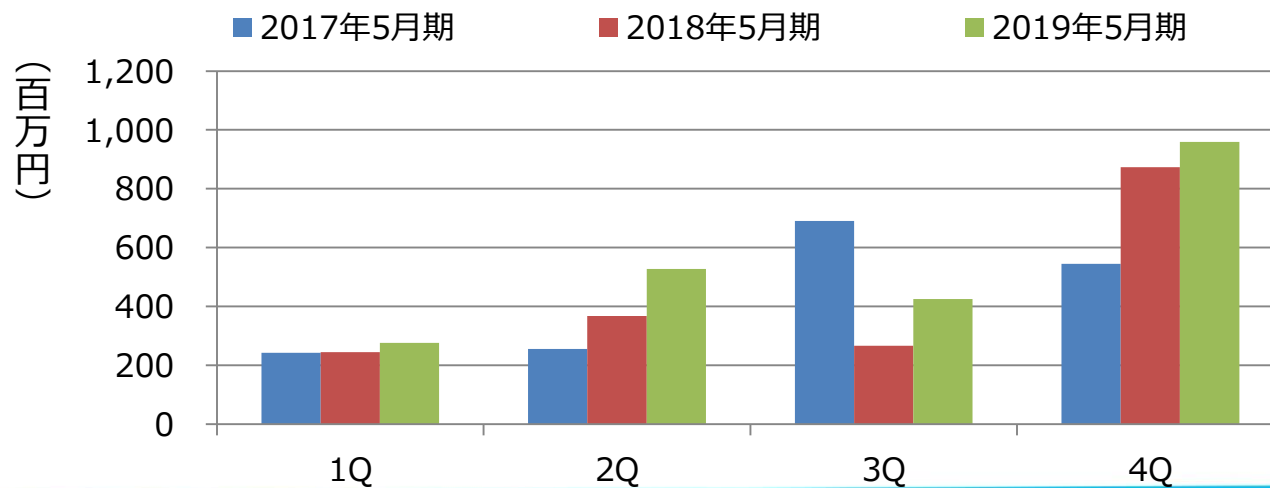


【情報・サービス分野】

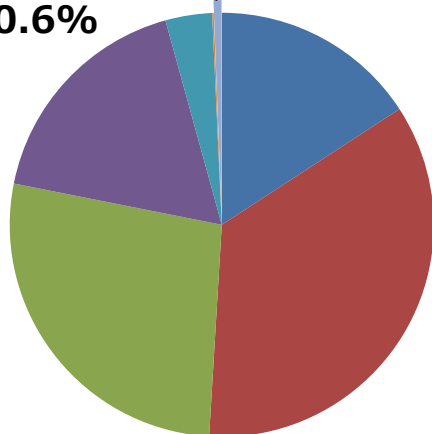
■ 売上高： 21億87百万円
■ 前期比： 24.9%増

電子カルテシステム等の医療IT機器の売上増加

■ 情報・サービス分野の売上高推移（四半期別）



構成比,
0.6%



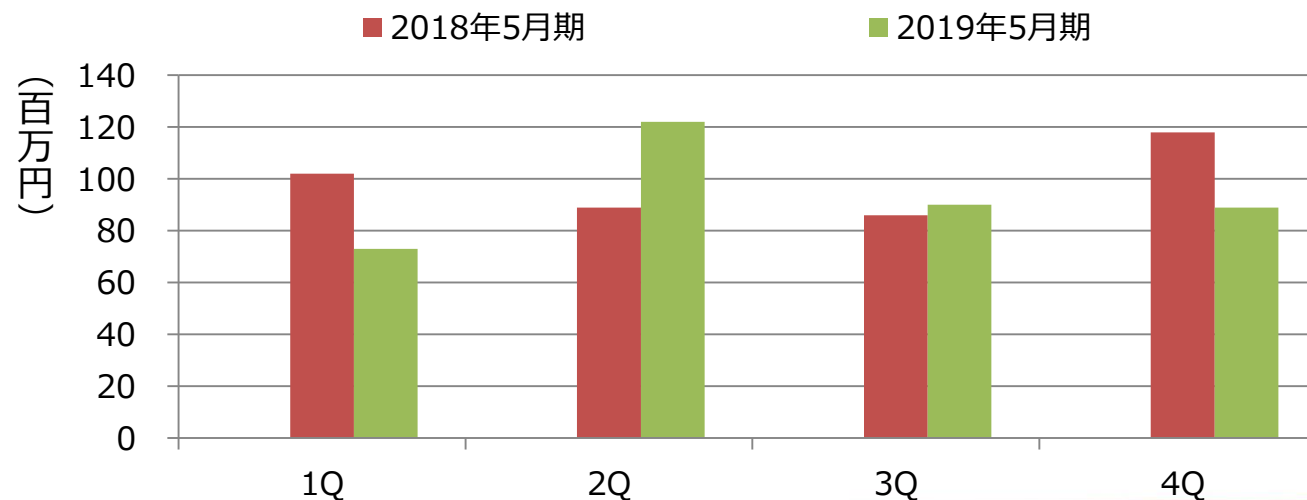
【医療機器製造・販売業】

■売上高： 3億74百万円

■前期比： 5.3%減

グループ開発製品である整形外科用インプラントの製造・販売

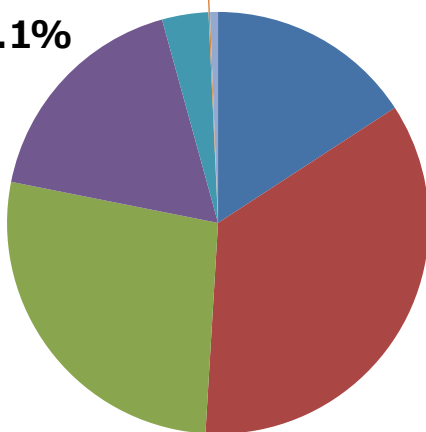
■医療機器製造・販売業の売上高推移（四半期別）





構成比

0.1%



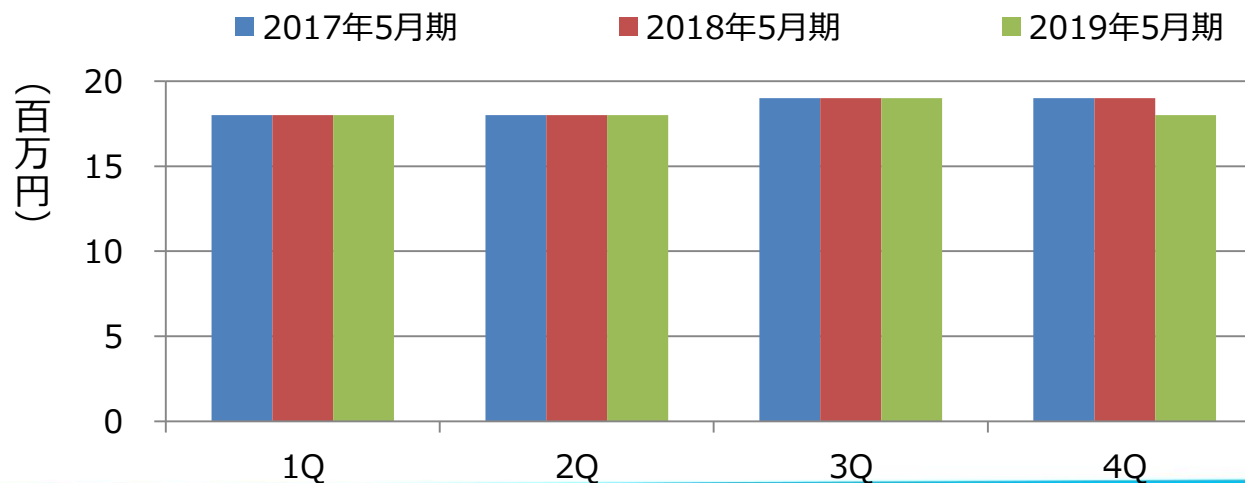
【医療モール事業】

■ 売上高： 73百万円

■ 前期比： 1.1%減

東手城ヘルスケアモール（広島県福山市）運営
による賃料収入

■ 医療モール事業の売上高推移（四半期別）





1. 2019年5月期 業績の概況

2. 事業別概要

3. 決算概要

4. 今期の見通し

5. ご参考

連結損益計算書



(百万円)

	2018年5月期	2019年5月期	対前期比 (%)
売上高	58,692	61,533	104.8%
売上総利益	6,312	6,505	103.1%
販売管理費	5,939	5,983	100.7%
営業利益	373	522	139.9%
経常利益	449	617	137.4%
税引前当期純利益	366	382	104.4%
当期純利益	221	144	65.2%
EPS 一株当たり当期純利益 (円)	87.04	56.57	65.0%
ROE 株主資本利益率 (%)	3.6	2.3	63.9%

連結貸借対照表



(百万円)

	2018年5月期		2019年5月期	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
流動資産	15,318	73.6%	15,137	74.5%
現金・預金	2,753	13.2%	2,335	11.5%
売上債権	10,036	48.2%	10,155	50.0%
棚卸資産	2,284	11.0%	2,470	12.2%
固定資産	5,495	26.4%	5,183	25.5%
有形固定資産	3,781	18.2%	3,667	18.0%
総資産	20,813	100.0%	20,320	100.0%
流動負債	13,767	66.1%	13,249	65.2%
仕入債務	12,533	60.2%	12,116	59.6%
短期借入金等	150	0.7%		
固定負債	773	3.7%	698	3.4%
長期借入金等	150	0.7%		
負債合計	14,540	69.9%	13,948	68.6%
純資産合計	6,273	30.1%	6,372	31.4%

連結キャッシュ・フロー計算書



(百万円)

	2018年5月期	2019年5月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,493	▲ 101
税引前当期純利益	366	382
売上債権の増減額 (▲は増加)	▲ 521	▲ 118
棚卸資産の増減額 (▲は増加)	19	▲ 190
仕入債務の増減額 (▲は減少)	891	▲ 396
法人税等の支払額	▲ 52	▲ 240
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 377	49
有形固定資産の取得による支出	▲ 39	▲ 53
財務活動によるキャッシュ・フロー	352	▲ 366
現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)	1,468	▲ 417
現金及び現金同等物の期末残高	2,753	2,335



【方針①】株主資本利益率（ROE）10% を目標

- ✓ 健全な財務体質を維持しつつ、収益構造を見直し、株主資本の効率的運用により企業価値を向上させる

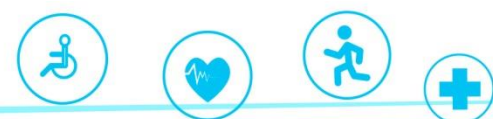
【方針②】自己資本比率 30%以上の維持

- ✓ 環境が更に厳しくなることが予想される中、財務基盤の安定性を重視

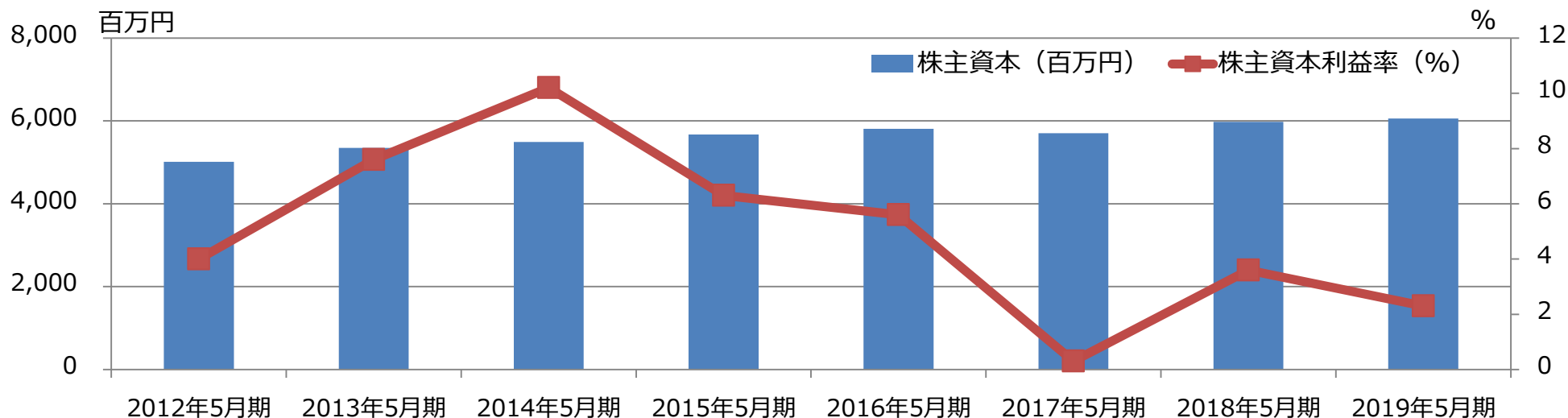
【方針③】配当性向 30%

- ✓ 株主・社員・会社の三者のバランスを重視した利益還元を維持

方針① 株主資本利益率10%を目標



堅実な事業拡大を基本とし、収益性の維持・向上を図る

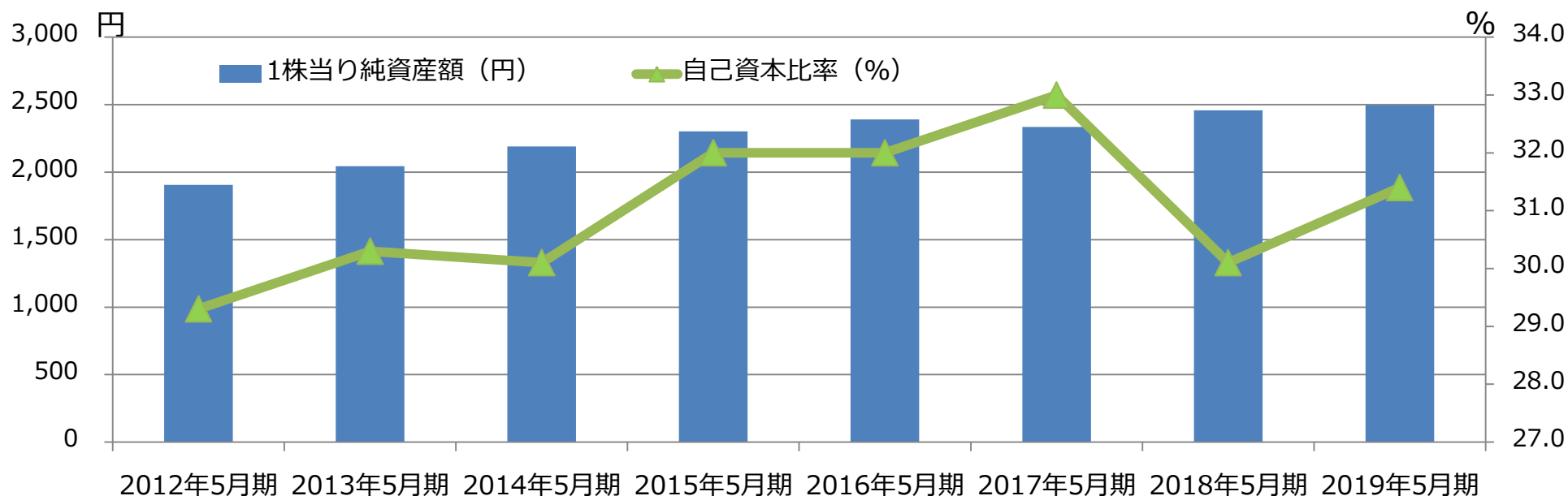


	2012年5月期	2013年5月期	2014年5月期	2015年5月期	2016年5月期	2017年5月期	2018年5月期	2019年5月期
株主資本 (百万円)	5,011	5,352	5,492	5,670	5,809	5,703	5,980	6,058
株主資本利益率 (%)	4	7.6	10.2	6.3	5.6	0.3	3.6	2.3

方針② 自己資本比率30%以上の維持



健全な資本構成を維持しながら株主価値の向上に努める



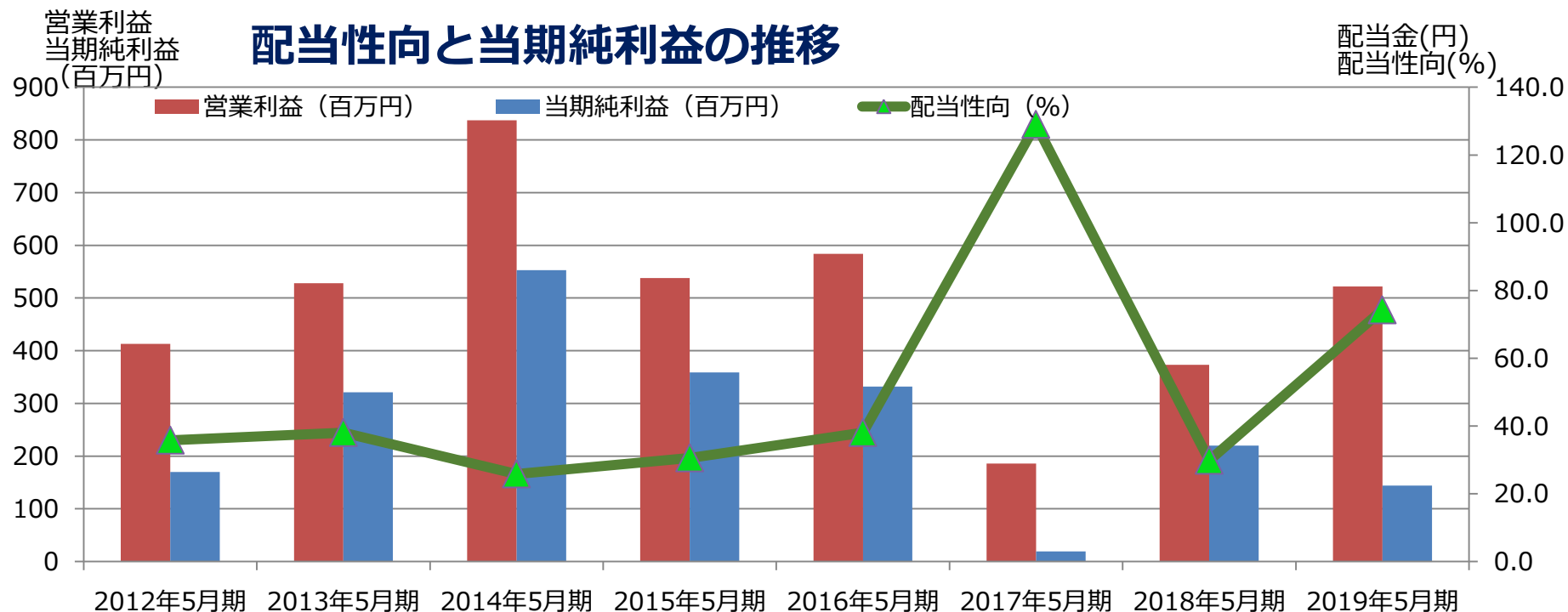
	2012年5月期	2013年5月期	2014年5月期	2015年5月期	2016年5月期	2017年5月期	2018年5月期	2019年5月期
1株当り純資産額 (円)	1,905	2,044	2,191	2,302	2,391	2,334	2,457	2,496
自己資本比率 (%)	29.3	30.3	30.1	32.0	32.0	33.0	30.1	31.4

方針③ 配当性向30%



配当の安定性に配慮

配当性向と当期純利益の推移



	2012年5月期	2013年5月期	2014年5月期	2015年5月期	2016年5月期	2017年5月期	2018年5月期	2019年5月期
1株当たり配当金 (円)	24	48	56	43	50	10	26	42
営業利益 (百万円)	413	528	837	538	584	186	373	522
当期純利益 (百万円)	170	321	553	359	332	19	220	144
配当性向 (%)	35.8	38.0	25.8	30.6	38.0	129.0	29.9	74.2



1. 2019年5月期 業績の概況

2. 事業別概要

3. 決算概要

4. 今期の見通し

5. ご参考



【基本方針】

「継続的な収益構造の確立に向けた事業会社の構造改革、及び企業買収等によるヘルスケア領域でのグループ力の向上を図る」

- (1) 継続可能な収益力の向上
- (2) 将来を見据えた新たな収益源の創出
- (3) グループ経営管理機能の強化
- (4) グループ価値の向上

【業績目標】 (2021年5月期)

- (1) 連結売上高 60,500百万円
- (2) 連結営業利益 530百万円
- (3) 連結経常利益 600百万円

※ 売上高経常利益率 1%以上



〔前期からの増収施策〕

- ✓充実した物流網を活かしたSPD事業の推進
- ✓急性期病院への営業を拡大
- ✓グループ協業による新規開業支援
- ✓新規事業における新たな市場の開拓
- ✓整形インプラント手術器具の海外生産開始

（百万円）

	2019年5月期実績	2020年5月期予想	2021年5月期※
売上高	61,533	62,581	60,500
営業利益	522	397	530
経常利益	617	453	600

※中期経営計画最終年度

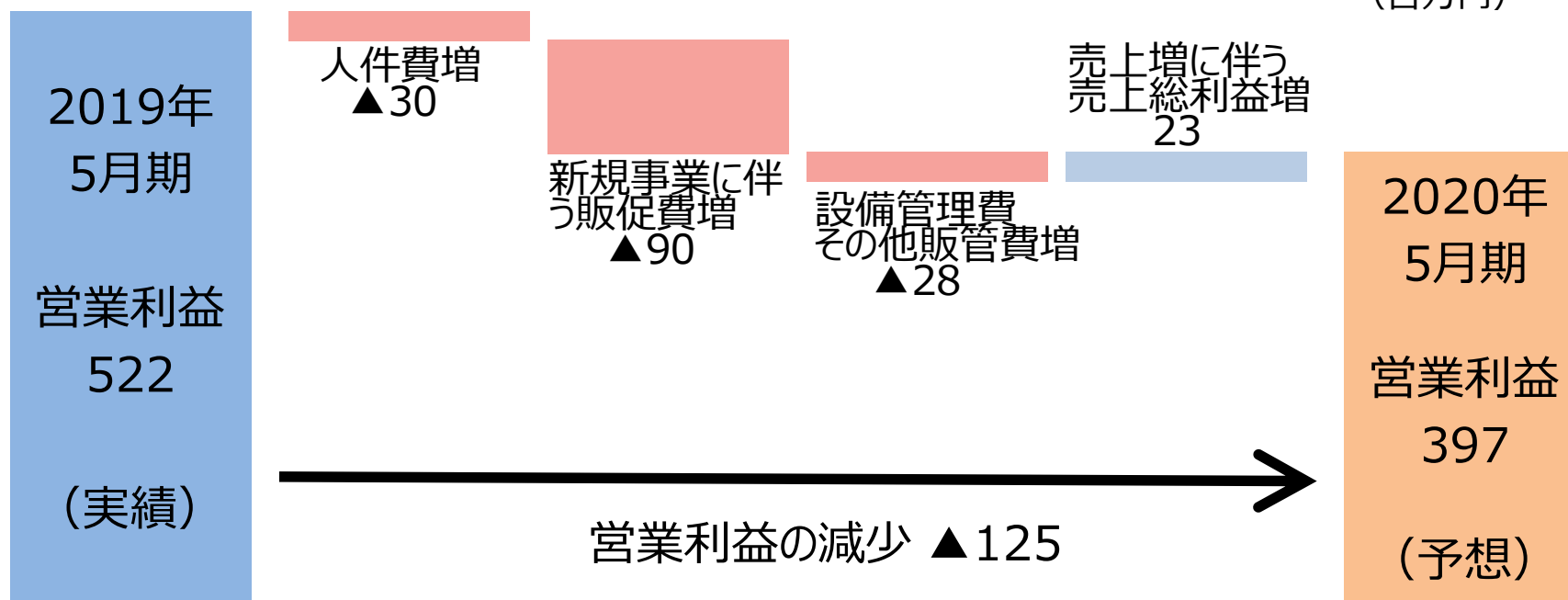
将来に向けた先行投資による経費面の増加

✓新規事業参入に伴う販売促進費

✓システム高度化や省エネ投資等の設備関連費 及び 人件費 等

➤ 前期からの減益要因

(百万円)



今期の主な施策①



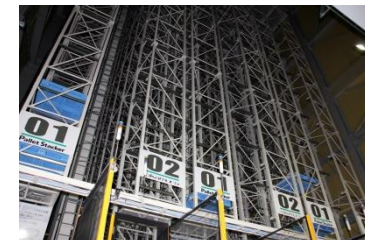
充実した物流網を活かしたSPD事業推進

※SPD
Supply Processing & Distribution の略

福岡SPDセンター



鳥栖物流センター



長崎物流センター



鳥栖SPDセンター



- ✓ 納期短縮かつ顧客の利便性向上
- ✓ 医療機関をサポートする多品種少量管理
- ✓ 非常時における安定供給確保
- ✓ MAL事業部による事業推進と効率化

※MAL
Medical Active Logistics の略

急性期病院への営業拡大

急性期病院の手術室や検査室をトータル・コーディネート

✓高度医療機器や低侵襲治療機器等の主力商品導入を支援

✓内視鏡画像を**人工知能（AI）**で解析し、医師の診断を補助する内視鏡画像診断支援ソフトウェアなど、高い診断精度を導く製品を提案



今期の主な施策③



グループ協業による新規開業支援



複数の医療機関での連携を推進



地域医療構想実現のため「地域医療連携法人」が新たに創設

医療機関相互間の機能分担および業務の連携を推進し、地域医療構想を達成するための一つの選択肢として設けられた。複数の医療機関等が法人に参画することにより、競争よりも協調を進め、地域において質が高く効率的な医療提供体制の確保につながることが期待されている。

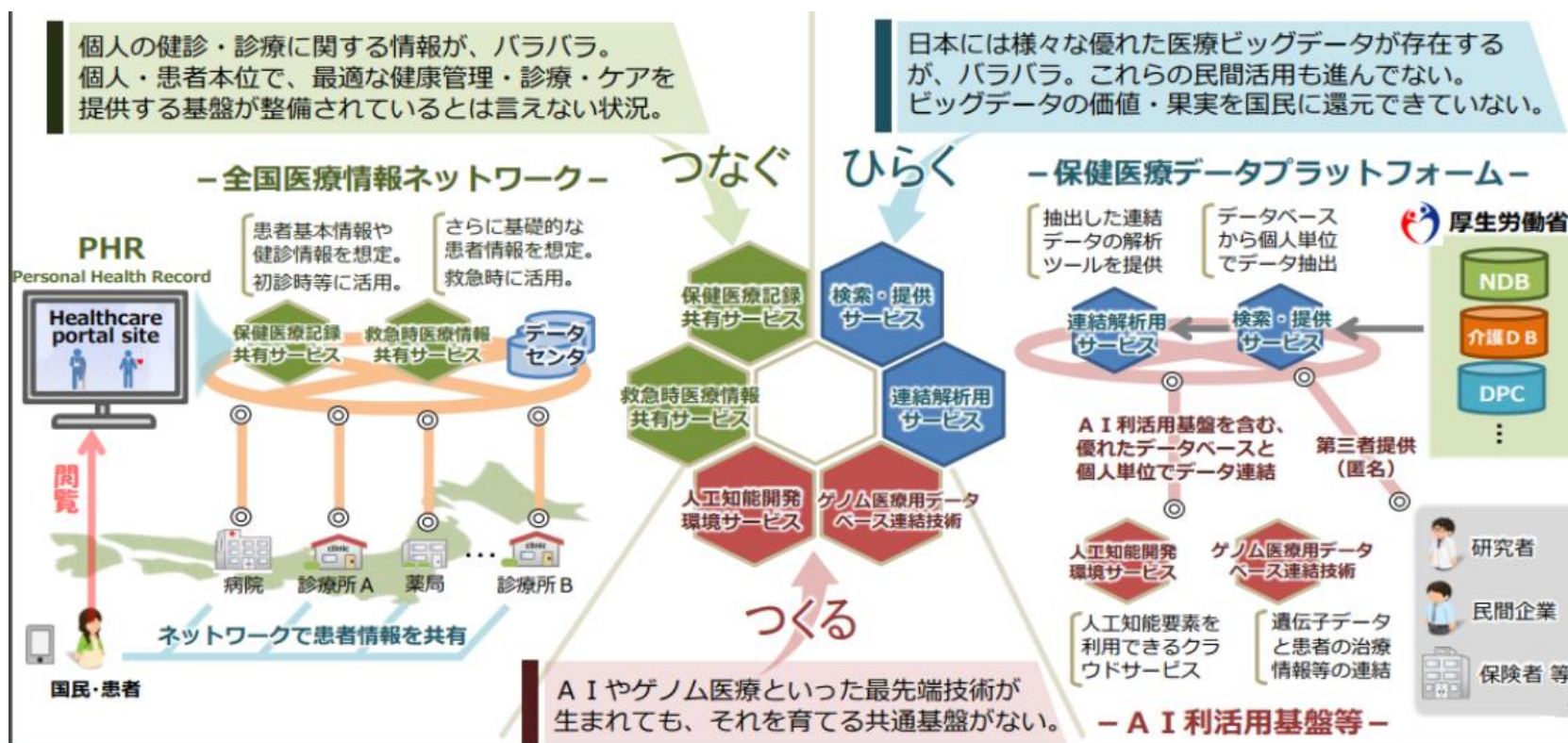
出典：厚生労働省HPより



医療・健康分野における「データヘルス改革」により I C T 化が加速

厚生労働省は、今年 1 月に「データヘルス改革推進本部」を立ち上げ、大規模な健康・医療・介護の分野を有機的に連結した I C T インフラを2020年度から本格稼働させるとの目標を打ち出した。

出典：厚生労働省HPより



新規事業による新たな市場開拓

株式会社アイムとの資本業務提携

自然落下制御式輸液装置「FLOWSIGN 03W」の市場拡大を図るべく、医療及び介護関連施設に向け、同装置の **レンタル事業を全国独占展開** することについて同社と合意

株式会社アイム 概要

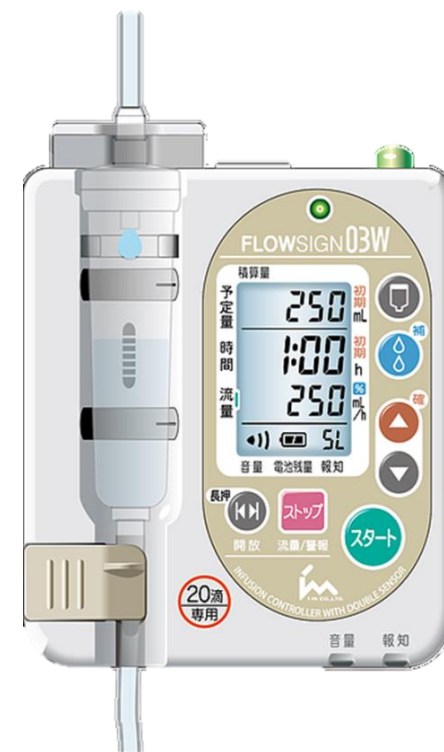
所在地：福岡県福岡市東区香椎浜4-1-8-208

代表者：代表取締役 宮本 一伸

事業内容：医療用輸液装置の製造販売

資本金：7,852 万円

創業：1992 年



日本経済新聞 2019年2月6日 朝刊掲載

手術器具 台湾で量産

ヤマシタヘルスケア

医療機器商社のヤマシタヘルスケアホールディングス（HD）は人工関節（インプラント）手術用の器具を台湾で生産する。生産コストを最大8割削減。診療報酬引き下げでコスト削減を求められている医療機関向けに使い切りで割安な器具を提供する。高齢化で膝や股関節の人工関節手術が増えており、需要を開拓する。

膝・股関節向け 高齢化で需要

生産コスト最大8割減

医療機器製造子会社、イーピーメディック（福岡市）が開発した膝や股関節に骨接合材料を埋め込むために利用するドリルや、インプラントを患部に埋め込むためのワイヤ、ドリルの方向などを確認するためのピンを生産する。実際の生産は台湾の医療機器メーカーに委託し、製造コストを従来より3〜8割ほど引き

下げる。こうした医療器具は従来は洗浄するなどして、複数回使用しているが、価格を下げることで使い捨てできるようにする。

人手不足に悩む病院が増えるなか、洗浄作業の手間や時間が省け、作業負担の軽減や衛生面の向上を期待できる。まずは九州の病院に販売する。

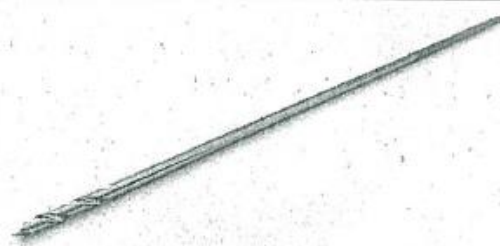
ドリルやワイヤなどの単価は5千円程度とみられる。初年度はドリルとワイヤを各2000個程度、ピンについては3000〜4000個の販売を目指す。

日本人工関節学会によると、股関節と膝関節の

人工関節手術は増加が続いている。2017年度の股関節手術登録件数は2万件、膝関節の手術は2万5千件を超えた。高齢化で今後も手術は増えたとみられる。

ヤマシタヘルスケアは傘下の山下医科器械（長崎県佐世保市）が担う医療機器販売が主力で、2019年5月期は連結売上高で前期比1・5%増の595億円、営業利益は17・7%減の3億円を見込む。ただ自社グループによる医療機器製造は整形外科用インプラントなどにとどまっていた。経営効率化を求められている医療機関向けにコストを引き下げた自社製造の医療器具を提供し、需要を開拓する。21年5月期に売上高605億円、営業利益5億円を目指す。（荒牧寛人）

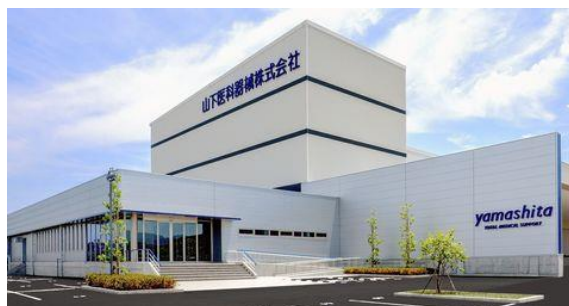
人工関節の手術で使うドリルなどを台湾で量産する（ヤマシタヘルスケアHD提供）



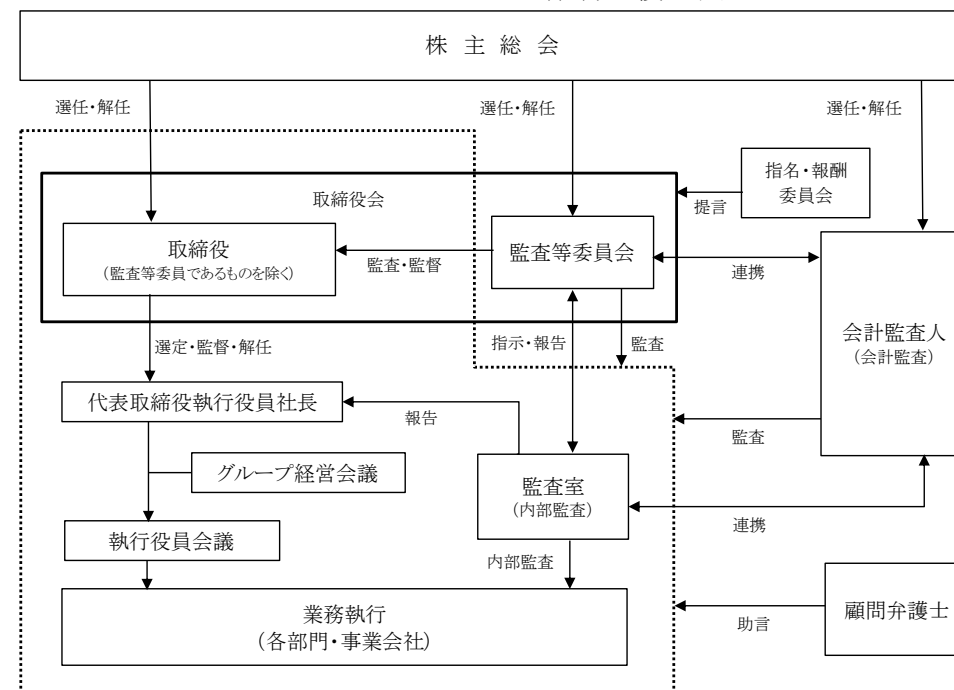
コーポレート・ガバナンス体制



当社におけるコーポレート・ガバナンスは、企業価値の最大化に努め、株主利益の実現を図るとともに、企業倫理の向上に取り組みます。また執行役員制度を導入し、機動的な企業運営を行い、企業として健全な経営体制を構築しております。



コーポレートガバナンス体制の模式図





1. 2019年5月期 業績の概況
2. 事業別概要
3. 決算概要
4. 今期の見通し
- 5. ご参考**



【医療業界】

- ・消費税増税に伴う診療報酬本体が0.41%引き上げ予定
- ・団塊ジュニアが高齢者となる2040年を展望した次なる医療体制構築協議
- ・高齢化により今後も国民医療費・介護費の抑制や単価の引き下げ
- ・医療機関では経費節減等による経営効率化の施策が進む 等

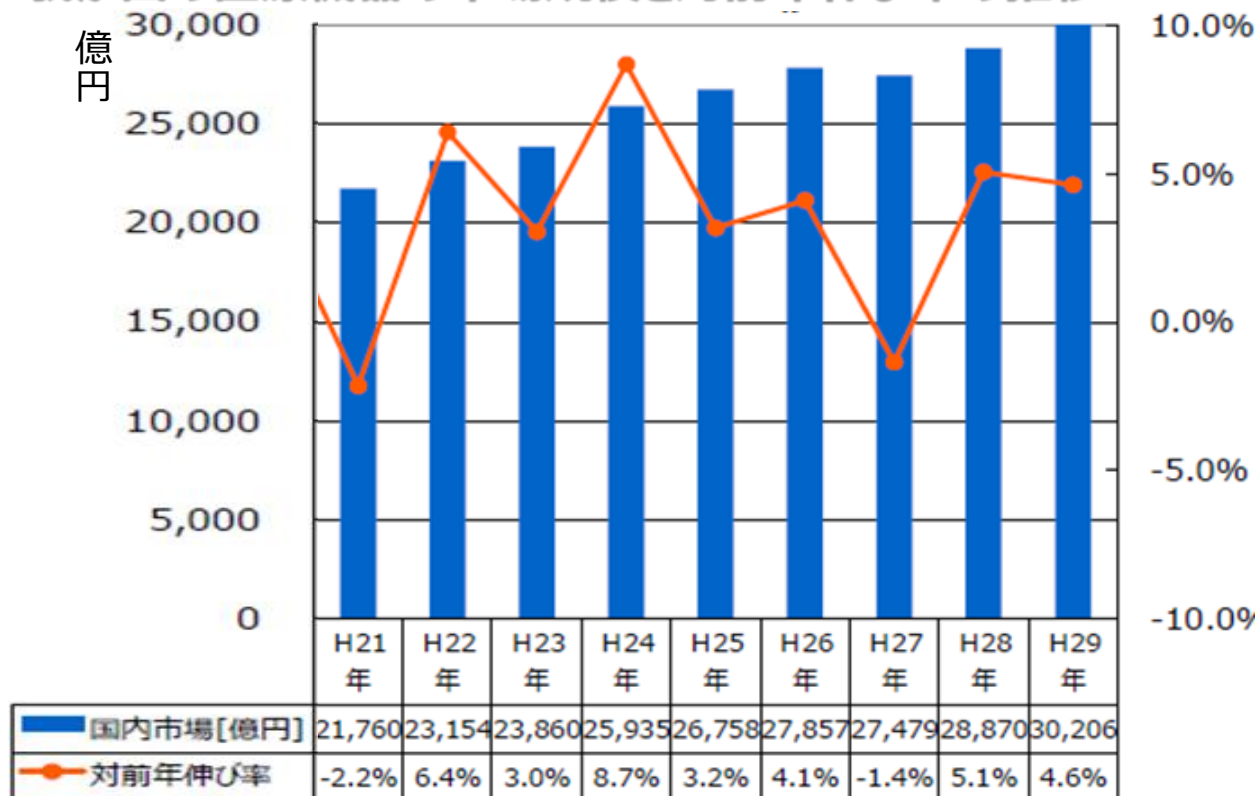
【医療機器業界】

診療報酬改定、消費税増税等により…

- ・汎用医療材料の価格低下により市場環境が厳しい
- ・病床再編に伴う市場成長の減速
- ・医療材料の販売価格値下げ交渉
- ・業界再編等の動きが活発化 等

- ✓ 2017(H29)年度 日本の医療費は42兆2,000億円
- ✓ 医療機器市場は、そのうち約 7% (約3兆円)

我が国の医療機器の市場規模と対前年伸び率の推移



出典：厚生労働省 薬事工業生産動態統計

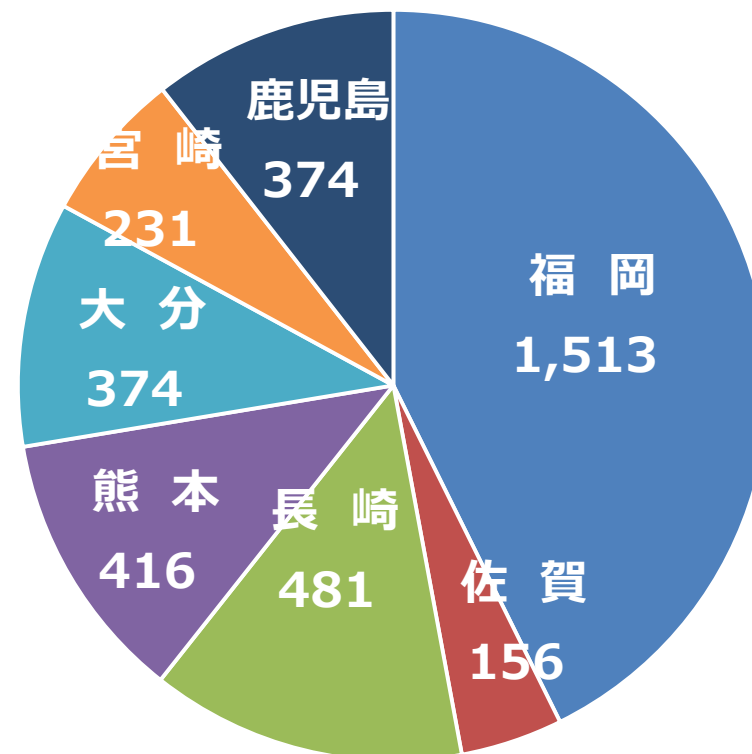
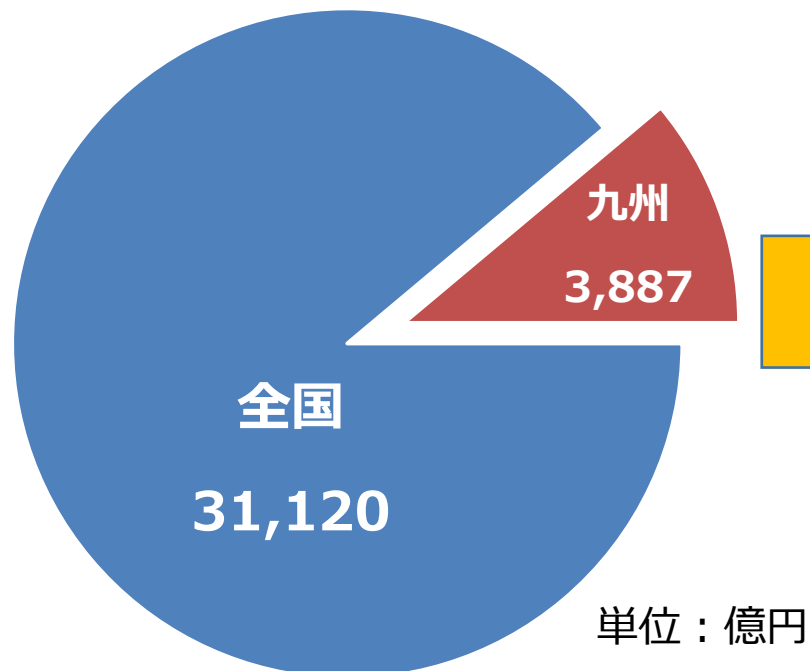
全国および九州の医療機器市場



◆ 全国の地域別末端市場規模
全国：3兆 1,120億円

◆ 九州の地域別末端市場規模
九州：3,887億円

九州地域 市場構成全国比：12.5%



出展：(株)アールアンドディ「医療機器・用品年間」2017年度



本資料は、当社の事業内容等につきご説明するために、現時点で入手できる情報に基づき、当社が作成したものです。
今後の業績等については、様々な要因によって計画数値と異なる結果となる可能性があります。
投資を行う際には、投資家ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。

お問い合わせ先

ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社 経営管理部

T E L : 092-726-8202

F A X : 092-726-8212

E - M A I L : soumu@yamashitaika.co.jp

U R L : <http://www.yhchd.co.jp/>